

# 奈良の食だより Vol.5



みなさん、こんにちは！奈良県豊かな食と農の振興課です。日頃より、安心・安全で美味しい給食づくりにご尽力くださりありがとうございます。

当課は昨年4月に農林部マーケティング課から、「食と農の振興部豊かな食と農の振興課」へと名称変更いたしました。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

今回は、学校に給食の野菜や果物が届くまでの仕組みとして、中央卸売市場について紹介します。児童・生徒のみなさんに食育の授業などをする際にも、ご参考にしてください。



## そもそも... 卸売市場って??

卸売市場とは、生鮮食料品（野菜・果物・水産物など）が全国から集まり、小売店（八百屋、スーパーなど）、外食事業者（レストランなど）、加工業者へ販売される拠点のことです。集まった品物の品数や値段をうまく調整し、安心・安全な品物を適正な価格で供給するのが卸売市場の役割になります。

★大量で素早い取引 ★衛生面でのチェック ★安定した供給

## 卸売市場の人たち

### 卸売業者 おろしうりぎょうしゃ



全国の産地から荷物を受け取る業者です。荷を受け取る役割から荷受とも呼ばれます。奈良県中央卸売市場には青果物（野菜や果物）の卸売業者が2社、水産物（魚など）の卸売業者が2社あります。

### 仲卸業者 なかおろしぎょうしゃ



卸売業者から荷物を仕入れてスーパーや食品業者、飲食店などに販売する業者です。奈良県中央卸売市場では青果物は19社、水産物は22社が営業しています。

### 関連事業者 かんれんじぎょうしゃ

卸売市場を利用する人たちのために、卸売市場の中で食堂の営業や日用品などの販売をしています。給食で使われる調味料なども販売しています。

# 中央卸売市場を通して野菜や果物が学校に届くまで

## 農協

農家を作る野菜や果物を集め、適正な価格で販売するよう卸売業者に委託します。

## 生産者(出荷組合など)

全国の農家がいろいろな野菜や果物を生産し、卸売業者に販売を委託します。

## 中央卸売市場

県内で流通する野菜や果物の多くは市場を経由しています。

最近では、スーパーや八百屋さんの開店時間に間に合うように届けるため、前日午後から野菜や果物を入荷し、深夜から取引(相対取引※)が始まります。

そのため市場の人たちは、“季節の恵みと生産者の努力のつまった野菜や果物”をみんなの学校の給食に間に合うように朝早く(場合によっては24時間)から働いています。

※「相対取引」とは、売る人と買う人が1対1で交渉し、数量・価格などを決める取引のことです。

## 卸売業者



季節にかかわらず、安定した価格や量の野菜や果物を給食に届けられるように、奈良県内だけでなく全国各地の野菜や果物を集めてくれています。また野菜や果物の品質をチェックしています。そのため野菜や果物の善し悪しを見極める「目利き」も必要なのです！



早朝の市場の様子

## 仲卸業者



たくさんの種類の野菜や果物をお店や学校ごとに間違いのないように仕分けし、給食に間に合うように、決まった時間に配達しています。給食のメニューは何ヶ月も前に決まりますが、そのメニューに使う野菜や果物の種類や量を取りまとめて卸売業者に注文しています。仲卸業者も、より良いものを届けるために「目利き」が欠かせません。



トラックに積みみます

## 給食納品業者・加工業者

仲卸業者が直接学校に配達する場合がありますが、給食納品業者(給食専門のお店)や、加工業者(野菜や果物を細かくカットしてくれる業者)が間に入ることもあります。

## 学校給食



配達された野菜や果物は栄養士や調理士によっておいしい給食になり、みんなの元へ届きます！

みんなの登校時間に重ならないよう、前日や早朝に納品されています。



< 発行 > 奈良県食と農の振興部豊かな食と農の振興課

販売・流通係 担当：森重 (TEL. 0742-27-5427)

★本紙は当課HP(右のQRコードからアクセス!)にも掲載しています。

